

拉致で引き裂かれた家族の運命を描く。

# めぐみへの誓い

-The Pledge to Megumi-

自分を殺しても、きっと生きて帰る。

## THANK YOU

映画「めぐみへの誓い」はクラウドファンディングをはじめ総勢 4608人(2020年8月21現在)の支援を受けて完成しました。支援者は今も増え続けています。

親子が会えることが奇跡になってはいけない。

## 映画上映会 開催

2023 12/23(土)

入場無料

14:00~16:00 (13:30 開場)

ユートピアくびき希望館(頸城区百間町 716)

あきらめたら娘が死んだことにされてしまう。

申込み・問合せ

上越市総合政策部 人権・同和対策室

要申込み

参加には事前申し込みが必要です。

以下のいずれかの方法で、氏名・住所・電話番号をお知らせください。

<電話>025-520-5683 <FAX>025-526-8363

<メール>jdtaisaku@city.joetsu.lg.jp

<申込フォーム>市のホームページから申込み

右の2次元コードを読み取り、入力ください。⇒

【申込期限】令和5年12月15日(金曜日)まで



主催:上越市、新潟県、北朝鮮による拉致問題に関する新潟県市町村長の会



私たちの一人ひとりです。  
この物語の結末を作るのは

愛する家族に会えなくなるような悲劇は決してあってはなりません。  
まして外国の手によって家族が引き裂かれるような犯罪は、  
絶対に許すことはできません。

13歳でいきなり拉致され家族と引き離され、  
それまで全く知らなかった国で今も懸命に生きる横田めぐみさん。  
愛する娘の生存を信じて、救出運動に邁進し続ける滋さん、早紀江さんご夫婦。  
二人の幼子を日本に残したまま連れ去られた、当時22歳の若い母親田口八重子さん。

そして映画でも触れていますが、  
警察が拉致の疑いが排除できないとする所謂特定失踪者の数は、何と883名にも上ります。

この許されざる事件の真相と、運命に雄々しく立ち向かう人たちの勇気と愛の物語を紡ぎました。  
事件に巻き込まれた全ての人々が、再び抱き合い幸せな日々を取り戻す日のために。



綿密な取材に基づいたリアルな描写に涙する。不屈の家族愛の感動作がここに完成しました！

監督・脚本 野伏翔

菜月 原田大二郎 石村とも子 大鶴義丹 小松政夫 仁支川絳子 坂上梨々愛 安座間美優 小林薫

企画:野伏翔 上島嘉郎 佐々木俊夫 総合プロデューサー:松村謙裕 原作:野伏翔 拉致問題監修:荒木和博 助監督:平波亘 撮影:神野善晃 美術監修:安宅紀史  
照明:斉藤徹 音楽:許平和 許真弓 録音:岡部聡 ヘアメイク:榎本愛子 キャスティング:永嶋晶 製作:映画めぐみへの誓い製作委員会 配給:株式会社アフィカス